

動物実験に関する自己点検・評価報告書

広島修道大学

2026 年 6 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程の整備状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程を整備している。 ☐ 機関内規程を整備しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程を整備していない。
2) 自己点検の対象とした資料 広島修道大学動物実験等に関する規程、広島修道大学実験室使用規程、広島修道大学毒物及び劇物管理規程、広島修道大学有害物質使用特定施設に関する管理要領、広島修道大学廃棄物取扱規程
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（以下「飼養保管基準」という。）と文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（以下「基本指針」という。）に則って、「広島修道大学動物実験等に関する規程」が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

2. 動物実験委員会の設置状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 ☐ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 広島修道大学動物実験等に関する規程、動物実験委員会委員名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 飼養保管基準及び基本指針に適合した動物実験委員会が置かれている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 広島修道大学動物実験等に関する規程、広島修道大学動物実験計画書様式、広島修道大学動物実験結果報告書様式、動物飼養保管施設設置承認申請書様式、動物実験室設置承認申請書様式、施設等廃止届様式、変更追加承認申請書様式、動物実験終了・中止報告書様式
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験の実施に必要な動物実験に関する規程及び各種申請様式が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 ☒ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 なし。
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した、適正な飼養保管の体制である。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 飼養保管施設を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 広島修道大学動物実験等に関する規程、動物飼養保管施設設置承認申請書様式、動物実験室設置承認申請書様式、施設等廃止届様式、飼養保管マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼養保管施設等の設置と廃止に関する要件が規程等に定められており、確認に必要な各種書式等も適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取組及びその点検・評価結果）

該当なし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 広島修道大学動物実験等に関する規程、動物実験委員会議事録、2025 年度実験動物飼養保管施設視察記録
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 広島修道大学動物実験等に関する規程等に基づいて、学長の諮問機関として委員会を開催し、関連事項について審議した。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 2025 年度動物実験計画書審査記録、2025 年度動物実験結果報告書、2025 年度動物実験自己点検票
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 2025 年度は新規の動物実験計画の申請はなく、継続案件のみであった。動物実験結果報告書と動物実験自己点検票により動物実験の実施状況を把握した。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☐ 該当する動物実験を適正に実施している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☒ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 なし。
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 安全管理に注意を要する動物実験を行っていない。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した上で、適正に実施している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 飼養保管施設を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 各飼養保管施設の飼養マニュアル等、2025 年度実験動物飼養保管状況の自己点検票、2025 年度実験動物飼養保管施設視察記録、緊急時対応マニュアル （動物種：なし 動物数：0）
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 実験動物以外の動物を含め、全ての動物が実験動物管理者によって適正に飼養保管されていた。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した上で、適正に維持管理している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 飼養保管施設を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 飼養保管施設設置承認申請書、飼養保管施設一覧、2025 年度実験動物飼養保管施設視察記録、2025 年度実験動物飼養保管状況の自己点検等 (施設の総数：3、主要な施設の名称：第 2 研究棟 393 号室)
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 施設の設置時に動物実験規程が求める設置基準を満たしていることを委員会が確認しており、視察と実験動物飼養保管状況の自己点検票の提出によって、適正に維持管理されていることを把握している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した上で、適正に実施している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験教育訓練実施報告 (実施回数：1 回、内容：動物実験の実践倫理、受講者：8 名)
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 教育訓練の実施記録等によって基本方針に則した教育訓練が実施されていることを確認している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した上で、適正に実施している。 □ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 広島修道大学動物実験に関する自己点検・評価報告書、広島修道大学公式 WEB サイトにおける動物実験に係る情報公開 (https://www.shudo-u.ac.jp/research/ethics.html)
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 大学の公式 WEB サイトに自己点検・評価報告書をはじめとして、広島修道大学における動物実験に関する情報を公開している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

学外での野生動物（哺乳類）の生態調査等を実施する場合も動物実験計画書を提出し、学長承認を経て実施することとしている。
--